



ROTARY NEWS ロータリーニュース

東京府中ロータリークラブ

東京府中ロータリークラブホームページ <http://www.tokyo-fuchu-rc.org/>

発行所
東京府中
ロータリークラブ
広報委員会

東京都府中市緑町3-5-2
(むさし府中商工会議所会館4階)
TEL (042) 3 6 6 - 6 2 0 0
FAX (042) 3 6 9 - 0 0 1 0

「感謝」

府中市長 高野 律雄



東京府中ロータリークラブの皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、今年は新型コロナウイルスによる感染症拡大により、4月に国から緊急事態宣言が発出される等、未曾有の状況が続いております。このことから、

感染拡大抑制、市民の生命及び健康の保護、市民生活と市民経済に及ぼす影響が最小となるよう、貴クラブをはじめとした団体や企業、そして市民の皆様の大なるご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

本市では、「みんなで創る笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向け、一日でも早く安心して暮らせるよう、皆様方のご協力を賜りながら、引き続き、市政運営に努めてまいります。結びに、東京府中ロータリークラブのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

「一年を振り返って」

東京府中ロータリークラブ

会長 篠原 定



このたびの新型コロナウイルス感染症により亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げると共に、罹患された皆様や影響を受けられている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

来年からはクラブ単独事業として、教育功労者顕彰事業を引き続き行つてまいりますので、今後とも本事業にご支援を宜しくお願いいたします。

当クラブには、今年で46年目を迎える予定であった府中市内の小中学生を対象とした作文コンクールと37年目を迎える教育功労者顕彰があります。この二つの事業は当クラブにとって最も重要な事業です。

当クラブでは、毎年6月末日にこのロータリーニュースを府中市内に配布をしています。顕彰を受けられた先生方のご功績を紙面に掲載しておりますので是非お読み頂ければと思います。

特に教育現場で優れた功績があった先生方を顕彰する教育功労者顕彰では、今年は5名の優れた先生を顕彰させていただきました。

作文コンクールは、初年度の応募は219点でしたが、今では府中市内全ての小中学校から13000点を超える応募のある大きな事業になりました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で教育関係者の皆様と慎重に検討を重ね、残念ではありましたが作文コンクールの中止を決定いたしました。

昭和三十七年3月27日創立20周年を機に、当時の会員から寄付金等を募り1100万円をみずほ信託銀行に公益信託し、毎年会員からの寄付とあわせ教育功労者顕彰事業の資金として37年間使用してきましたが、今年をもって公益信託事業を終了する事となりました。東京府中ロータリークラブにとって節目の年に顕彰を受けられた5名の先生方に心からお祝いを申し上げます。

そのかわりとして、本年は新型コロナウイルス感染症の拡大で医療崩壊の危機に直面し、十分な医療用マスクがない中、懸命に新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎ、市民の皆さんのために医療の最前線で昼夜を問わず働く医療従事者のお役に立てるよう、府中市にある多摩総合医療センターとがん検診センターへ医療従事者用のマスクを寄贈し、感謝の言葉をいただきました。寄贈時に医療現場の緊迫した状況のお話しをお聞きし、改めて新型コロナウイルスによる医療現場の厳しさを知ることができ、会員の貴重な寄付が地域医療のお役に立てることができたことを誇りに感じ、ロータリークラブの素晴らしさを実感することができました。

1日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、今までどおりの日常生活が戻るよう心よりお祈り申し上げます。地域のために我々と一緒に奉仕活動をしていただける方を歓迎します。これからも東京府中ロータリークラブを宜しくお願いたします。

本年度の活動の



東京都立がん検診センターへ寄贈



東京都医療経営本部へ目録贈呈 2020年4月27日(月)

世界中で日々新型コロナウイルス感染症の被害が拡大している中、拡大を抑えるために昼夜を問わず働き続けている医療従事者の方々が安心して働ける環境に少しでも役に立つ奉仕を行いたいと考え、現在、医療機関で不足し、最も深刻な状況にあるマスクを、東京都医療経営本部を通じて都立多摩総合医療センターと都立がん検診センターへ計一〇〇〇〇枚寄贈いたしました。

東京府中ロータリークラブは一九九二年より毎年継続して府中消防少年団への活動支援を行っています。支援金は例年、キャンプ用品やロープ等の備品購入の一部に充てられており、本年度は指導者・高校生準指導者用キャップの購入に充てられました。

東京府中ロータリークラブ、明星学苑インターアクトクラブと合同で年末に大國魂神社境内の落ち葉清掃を行っています。昨年末にも例年通り清掃作業を行いました。



賞を受賞しました。この賞は、国際ロータリーの挙げる活動項目の達成に加え、更に指定された三項目を達成したクラブに送られる賞です。(昨年度の賞になりますが、表彰式は今年度11月に行われました。)

東京府中ロータリークラブは二〇一八年度国際ロータリーのロータリー会長特別賞の最高賞である「プラチナ賞」を受賞しました。この賞は、国際ロータリーの挙げる活動項目の達成に加え、更に指定された三項目を達成したクラブに送られる賞です。(昨年度の賞になりますが、表彰式は今年度11月に行われました。)

教育功労者顕彰事業

小学校の部



高橋 真澄
主任教諭

府中第一小学校
教職歴 23年
市内在職 14年

主任教諭として、市内の理科教育振興に尽力してきました。

府中市立小中学校教育研究会の小学校理科部の庶務担当副部長として運営に長年携わり研究活動の活性化を図っています。理科教育の課題や教員のニーズを確実にとらえ、プログラミング教育の研修や科学クラブで使える実験など、興味をもつような企画を行ってきました。そのような取組をすることで、当初少なかった部員数が徐々に改善され、今年度は常に多数の教員が参加しているまでになりました。

また、年間2回だった研究授業も、昨年度からは年間3回の研究授業をするようになってきており、府中市内の理科教育の振興に大きく貢献しました。

さらに、特別支援教育の推進においても校内で活躍をしています。特別支援学級で指導していた経験を生かし、それぞれの児童の特性を理解し個別の支援に取り組んでいます。特に、経験の浅い若手教員に具体的な対応の仕方を助言することで、児童の困り感を改善する指導ができるようになり、校内の特別支援教育の推進において顕著な成果をあげています。



田邊 洋一
主幹教諭

府中第二小学校
教職歴 26年11ヶ月
市内在職 11年

教務主幹教諭として、児童数が千百人を超える大規模校において、校長の学校経営方針を的確に理解し、学校の課題を適切に捉えて教育計画の作成・管理

をしてきました。重点課題であった教室改修や新校舎増築の工事に関わる調整や周年行事の円滑な実施、および府中市教育委員会研究協力校としての研究発表会開催では、各分掌の主任への助言、指導をするなど、積極的に活動し、適切に実施することができました。

また、日々の教育活動では、組織を生かした活動ができるよう各分掌の主任に働きかけをしていることで、分掌の取り組みが活性化しました。本主幹教諭は、大規模校における安定した学校運営や児童の落ち着いた学校生活の実現に大いに貢献をしてきました。

学習指導では、『主体的、対話的で深い学び』を目指して授業改善に取り組み、日々の授業を展開しています。特に体育を専門とし、研究・研鑽に励み、若手教員を始め、学校全体の教員への指導・助言をするなど、体育授業の改善と体力向上にも顕著な成果をあげています。さらに、府中市小中学校教育研究会体育部会では、庶務担当副部長として部会の中心となって研究をすすめるなど、府中市の体育科教育の充実・発展に尽力している功績は顕著です。



山村 淑江
主任教諭

府中第五小学校
教職歴 29年9ヶ月
市内在職 21年9ヶ月

特別支援学級の担任として、一人一人の児童の障害の程度を的確に把握して、その子のニーズに合った適切な支援を実施しています。そのことにより、児童の自立する力を育ててきました。特別支援学級の主任としては、きめ細かい教育計画を作成することにより、教育実践に大きく貢献しています。自分の担当する児童だけでなく、在籍するすべての児童の適切な支

援のために、生活指導・進路指導・保健指導等において、取りまとめにあたっています。それにより、他の教員に良い影響を与えて、特別支援学級全ての児童の健康増進においてより効果が現れました。今年度の特別支援学級担当教員が6名中4名経験3年以下となる中、特別支援学級のリーダーとして、若手教員の指導力向上のための育成にあたっています。その結果として、所属の若手教員の力量向上が実現しています。

また、通常学級の担任や養護教諭、スクールカウンセラー、校外の関係諸機関との連携を適切に図っており、効果的な情報提供と支援を行うことができて、保護者の信頼を得ています。現在、学校を支えるかけがえのない教員として学校経営に大きく貢献しています。

また、通常学級の担任や養護教諭、スクールカウンセラー、校外の関係諸機関との連携を適切に図っており、効果的な情報提供と支援を行うことができて、保護者の信頼を得ています。現在、学校を支えるかけがえのない教員として学校経営に大きく貢献しています。



松本 泰治
主幹教諭

小柳小学校
教職歴 20年
市内在職 7年

主幹教諭として、学校と地域との連携を積極的に推進し、地域から信頼される学校づくりに顕著な成果をあげています。特に児童のタグラグビーの指導やPTAバレーボール練習の指導・助言や大会の応援など、体育的行事を中心に地域との関係を深めています。本主幹教諭が、地域行事へ参加する姿を示すことで、他の教員も積極的に地域行事に参加するようになり、学校に対する地域の信頼度を高めることに大きく貢献しました。

また、教務主幹教諭として学校経営上の課題を的確に把握し、学校運営を円滑に推進しています。学校経営支援部を組織し、主任教諭に的確な指示をだしながら学校運営上の課題を解決しました。生活指導主幹教諭の時には、児童の実態を的確に把握

し「学校生活のきまり」を見直し、自ら児童への指導を熱心に行いました。そのことにより、児童の学習規律が向上し、地域の方へ積極的に挨拶ができるようになるなどして、保護者・地域から高い評価を得ています。主幹教諭として学校運営全般にわたり、管理職を全面的に補佐し顕著な成果を上げています。

中学校の部



尾辻 茂樹
主任教諭

府中第三中学校
教職歴 34年
市内在職 9年

主任教諭として数学科指導において、少人数習熟別の指導に継続的に取り組んでいます。全学年基礎クラスを担当し、基礎・基本の徹底のみならず、主体的・対話的な活動を積極的に取り入れ、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図る工夫をしました。そのことにより、生徒の学力向上に高い成果を挙げています。また、生活指導においては、学年にとどまらず、学校全体の中心として、指導に当たっており、課題の見られる生徒へも粘り強く指導を続けています。登校をしづる生徒へは毎日家庭連絡を欠かさず、生徒一人一人に、的確で、心のこもった指導を行い、全生徒の居場所づくりを努めています。また、教員には率先して範を示し、人材育成にも貢献しています。

さらに、バドミントン部顧問を長く務め、技術向上だけでなく、総合的な人間形成に尽力し、毎年ブロック大会・都大会出場の実績を残しています。三地区青少年対主催のバドミントン大会にも毎年協力し、地域との連携においても、中核的役割を果たすなど教育活動の充実・発展における功績は誠に大きいものがあります。

今回で三十八回目を迎えた教育功労者顕彰事業は、学習指導・生活指導・授業研究等で顕著な成果を上げた府中市立小中学校の教員等の功績を顕彰することによって、教育の振興を図ることを目的としています。今までに三百七十七名の先生が顕彰を受けられ、子どもたちの健全育成や学校運営に貢献し、府中市の教育に多大な影響を与えています。今回も教育功労者にふさわしい先生を、小中学校の校長先生よりご推薦いただきました。

教育功労者選考を終えて

選考委員長 藤井 幸夫

今回で三十八回目を迎えた教育功労者顕彰事業は、学習指導・生活指導・授業研究等で顕著な成果を上げた府中市立小中学校の教員等の功績を顕彰することによって、教育の振興を図ることを目的としています。今までに三百七十七名の先生が顕彰を受けられ、子どもたちの健全育成や学校運営に貢献し、府中市の教育に多大な影響を与えています。今回も教育功労者にふさわしい先生を、小中学校の校長先生よりご推薦いただきました。

推薦された先生方は、いずれも学校の中核として教育活動を支えている方々です。授業研究を通して学習指導の充実に努め、子どもたち一人一人に寄り添い、情熱をもって健全育成に尽力され、子どもたちの学びと育ちを伸ばす優れた実践を積み重ねている先生方です。さらに、学習指導・生活指導・進路指導・特別活動・特別支援教育・若手教員育成、学校運営への貢献



教育振興基金について

公益信託東京府中ロータリークラブ
教育振興基金運営委員会 委員長 横ヶ埜 俊彦

東京府中ロータリークラブは、教育こそが国家の将来を左右するとの認識に基づき、クラブ創立二十周年の記念事業として本基金を創設いたしました。

その趣旨は、市立小中学校において顕著な功績をあげられた先生方を教育功労者として顕彰するというもので、府中市、府中市教育委員会、府中市立小中学校校長会のご協力のもと、三十八年間に三三二名の先生を顕彰してまいりました。

当クラブは、創立当初より青少年育成に主眼をおいた奉仕活動に注力して参りましたが、教育功労者顕彰事業は四十六年目を迎えた作文コンクールと並び継続事業の柱となっています。

時節柄、基金の維持運営が非常に難しくなっています。そこで次年度からは、公益信託ではなくクラブ主催の主事業として運営をしてまいります。教育環境の厳しいおり、今後も先生方を励まし、応援を続けてまいります。従前の通りご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

作文コンクールについて

作文コンクールは、一九七四年に「小中学生の諸君に職業及びロタリーの精神と活動に関するテーマで作文を募集し職業奉仕に関する認識と啓発、且つ一方では次代を担う青少年少女の物の考え方、見方をこの中より吸収し大人と子どもの接点を探し、更には職業奉仕、青少年奉仕活動への一端を把握しよう」との観点から行われ、その後府中市長はじめ、教育委員会及び府中市小中学校校長会のご理解とご協力を得まして毎年開催しているものです。

第一回のテーマは「職業及び職業に関連するもの」とし、二一九点の応募がありました。その後、毎年様々なテーマで回を重ねてまいりました。現在では三十五を超える小中学校より一三〇〇点以上の作品の応募をいただく大きな事業となりました。

例年ですと、応募いただいた作品は、審査員による二回の審査を経て入賞作品が決定され、六月上旬の表彰式にて入賞作品を表彰しています。優秀作品は表彰会場で受賞者本人に朗読していただいておりますが、文章上も思想的にも、しっかりとおり、来賓はじめご来場の皆様の間に、しばし感動感嘆の溜息が洩れるほどです。

また、ロタリーニュースの紙面でも受賞作品及び入賞者のご紹介をさせていただいてまいります。本年は新型コロナウイルス感染拡大により作文コンクールは中止いたしました。次年度は開催を予定しております。従前の通りご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



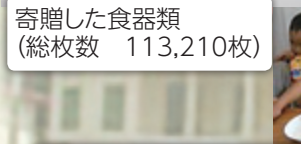
1992年 けやき並木大塚跡地
八幡太郎源義家公之像建立



明治100年を記念し大國魂神社
境内に植樹したしだれ桜



食器を使う子どもたち



寄贈した食器類
(総枚数 113,210枚)



2018年 廃棄処分となる食器を再利用



2002年 カンボジア
テープ・ヴィミアン小学校を寄贈



2011年 ラオス バンメー小学校を寄贈



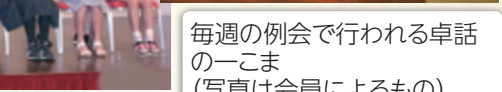
2012/02/27



2013/02/27



2012/02/27



毎週の例会で行われる卓話
の一コマ
(写真は会員によるもの)



年末の大國魂神社清掃活動



2013/02/27



第45回 作文コンクール表彰式
主賓 東京府中ロータリークラブ 後援 府中市 府中市立中学校教員会
昨年で45回目を迎えた「作文コンクール」

ロータリークラブについて

ロータリーの誕生とその成長

20 世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人 3 人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係まで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

- ロータリー会員は、課題を「機会」ととらえて行動を起こします。より良い地域社会をつくるために、地元や世界の根強い問題に多角的に取り組んでいます。
- ロータリーは、世界中の異なる国、文化、職業、経験をもつ 120 万人の会員からなるネットワークです。これらの会員は、それぞれの地元のロータリークラブで活動しています。
- ロータリークラブは、大小さまざまな奉仕活動を通じて、会員仲間や家族、友人、地域社会の人びとや他団体とともに、ビジョンを分かち合い、持続可能な解決策をもたらす方法を考え、行動に移します。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では 200 以上の国と地域に広がり、クラブ数 35,907、会員数 1,204,996 人(2020年1月15日国際ロータリー公式発表)に達しています。そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

東京府中ロータリークラブ会員名 2019.7.1 ~ 2020.6.30 会員数 58 名

理事・役員		会員	
池上敦雄 (有)池代表取締役	小宅肇 副幹事 府中観光交通 代表取締役	森藤郁成 副幹事 モリト不動産 代表取締役	根守克彰 幹事 須田清法律事務所 弁護士
栗林快次 会計 (株)きらぼし銀行 府中支店長	渡利圭太 理事 (株)ワタリ 代表取締役社長	野口英一郎 理事 (有)名野口酒店 中久本店 代表社員	松村一夫 理事 (株)東京マツシマ監査役
榎ヶ埜俊彦 理事 (株)守屋商会取締役会長	藤見義彦 理事 武蔵野労工 フォーラム代表	高橋晴彦 副会長 高橋興産(株)代表取締役	伊藤研二 会長 エレクト 代表取締役
村上保裕 直前会長 (株)マイテック 代表取締役会長	阿部弘之 会長 (株)篠原電気工業 代表取締役	秋山敏行 村上前会長 (有)絆商事代表取締役	桂田州啓 有山隆広 ソニー生命保険(株)新宿 ライフプランナーセンター 第1支社第8営業所 エグゼクティブブライフ プランナー部長
福本眞也 理事 学校法人明星学園 明星中学校・高等学校 校長	福島徹也 理事 (株)セルバンデス 代表取締役	小松貴之 理事 東京海上自動車火災保険(株) 西東京支店府中支社長	鈴木淳一 理事 野村證券(株)府中支店長
松村信幸 理事 (株)ブラックス 取締役会長	高野紘一 理事 府中スポーツ代表者	杉本時生 理事 医療法人社団英世会 理事・法人本部長	須藤光忠 理事 (株)三晃代表取締役
中村尚道 理事 公益社団法人 調布市医師会顧問	梅原勝彦 理事 (株)エーワン精密 取締役相談役	宇都宮秀仁 理事 (株)日華代表取締役会長	若松寧 理事 医療法人社団和徳会 若松歯科医院理事長
大木稔 理事 (株)大木組 取締役大御所	渡辺唯史 理事 ソニーハーツ(株)代表取締役	吉野幹夫 理事 (有)名よしの家代表者	吉岡孝明 理事 天神町クリニック院長
坂庭年哉 理事 (株)三菱UFJ銀行 府中支店長	湯浅葉子 理事 大和証券(株)府中支店長	佐藤靖生 理事 一級建築士事務所 (有)佐藤靖生建築研究所 代表取締役	佐藤泉 理事 SMBC日興証券(株) 調布支店課長
十蔵寺新 理事 医療法人社団新愛会 東京中病院名譽院長	神山光男 理事 光伸テック(株)取締役顧問	池田征士郎 理事 (株)インテック防水 代表取締役	印部武順 理事 (株)板木家石材店 取締役会長
井上常正 理事 (株)青木屋	佐藤靖生 理事 一級建築士事務所 (有)佐藤靖生建築研究所 代表取締役	大久保秋生 理事 (株)共同印刷所 代表取締役	大久保秋生 理事 (株)共同印刷所 代表取締役